⑹　その他の条件

ア　⑷ウで測定した場合は、スペクトル分析器のＹ軸スケールの絶対値を電力計及び信号発生器を用いて確認する。

イ　スペクトル分析器の検波モードのサンプルの代わりにＲＭＳを用いることができる。

ウ　搬送波抑圧フィルタの使用において、フィルタ減衰領域内の不要発射を正確に測定できない場合は、測定値を補正する。

エ　給電点から空中線接続端子の間に用いる不要発射を減衰させるフィルタの減衰量は、通過域の挿入損失とフィルタ減衰領域の減衰量の差を用いること。また、工事設計の認証において複数の種類のフィルタを用いる場合であって、減衰量が異なる場合は、補正に用いる減衰量は複数種類のフィルタ減衰量のうち最も少ない値を用いること。

オ　エのフィルタの入出力において給電線等により、フィルタの減衰量を超える結合によって、全体の減衰量が低下する場合は、補正に用いる減衰量は結合によって低下した減衰量とする。ただし、構造が銅コルゲート管又はセミリジット型の給電線を使用する場合は、この限りでない。

カ　複数の空中線端子を有する場合であっても、空中線選択方式のダイバーシティ等で同時に電波を発射しない場合は、同時に電波を発射する空中線端子のみを測定すること。ただし、空中線の選択回路に非線形素子を有する場合又は空中線端子によって測定値が異なることが懸念される場合は、省略してはならない。

キ　⑶ウにおいて、個々の空中線の電力及び位相を制御することによって空中線の指向特性を制御するものであって、一の空中線電力を増加させた場合、他の空中線の空中線電力を低下させることによって、複数の空中線電力の総電力を一定に制御する機能を有する場合は、一の空中線電力を最大として測定するほか、空中線電力の総和が最大になる状態に設定し他の空中線端子を測定する。

ク　⑵ウにおいて、探索した不要発射周波数が1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下の周波数範囲の境界周波数から参照帯域幅の１／２以内の場合は、中心周波数を境界周波数から参照帯域幅の１／２だけ離調させた周波数とする。

探索した不要発射周波数	中心周波数
1,884.50MHz以上1,884.65MHz以下	1,884.65MHz
1,915.55MHz以上1,915.70MHz以下	1,915.55MHz

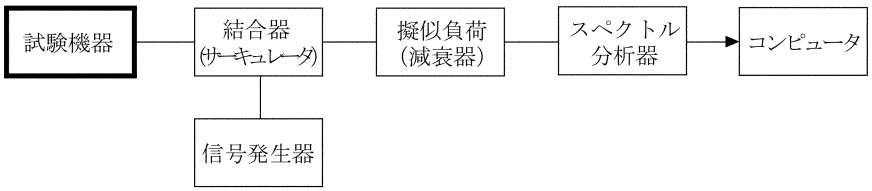
ケ　⑵ウにおいて、探索した不要発射周波数が2,010ＭＨｚ以上2,025ＭＨｚ以下の周波数範囲の境界周波数から参照帯域幅の１／２以内の場合は、中心周波数を境界周波数から参照帯域幅の１／２だけ離調させた周波数とする。

探索した不要発射周波数	中心周波数
2,010MHz以上2,010.5MHz以下	2,010.5MHz
2,024.5MHz以上2,025MHz以下	2,024.5MHz

コ　ケにおいて、スペクトル分析器の分解能帯域幅のフィルタの特性によって、測定値が搬送波周波数及びケの測定周波数範囲外の不要発射の影響を受ける場合には、分解能帯域幅を30kHz、掃引周波数幅を１MHzに設定して、参照帯域幅内の電力を積算して測定値を求めることができる。

六　スプリアス発射又は不要発射の強度（送信相互変調特性）

1　測定系統図



2　測定器の条件等

⑴　隣接チャネル領域における送信相互変調積測定時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　中心周波数　　４に示す周波数

イ　掃引周波数幅　　チャネル間隔と離調周波数により次表のとおりとする。

チャネル間隔	中心周波数	掃引周波数幅
５MHz	搬送周波数±５MHz	4.5MHz及び5.0MHz
	搬送周波数±10MHz	
10MHz	搬送周波数±7.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±10MHz	9.0MHz
	搬送周波数±12.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±20MHz	9.0MHz
15MHz	搬送周波数±10MHz	5.0MHz
	搬送周波数±15MHz	5.0MHz及び13.5MHz
	搬送周波数±30MHz	13.5MHz
20MHz	搬送周波数±12.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±17.5MHz	
	搬送周波数±20MHz	18.0MHz
	搬送周波数±40MHz	

ウ　分解能帯域幅　　30kHz

エ　ビデオ帯域幅　　100kHz

オ　Ｙ軸スケール　　10dB／Div

カ　入力レベル　　最大のダイナミックレンジとなる値

キ　データ点数　　400点以上

ク　掃引モード　　連続掃引

ケ　検波モード　　ポジティブピーク

コ　表示モード　　マックスホールド

サ　掃引回数　　スペクトラムの変動が無くなる程度の回数

⑵　隣接チャネル領域における１MHz帯域幅当たりの送信相互変調積探索時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　掃引周波数幅　　チャネル間隔により次表のとおりとする。

チャネル間隔	掃引周波数幅
５MHz	搬送周波数±（2.75MHzから7.25MHzまで）
	搬送周波数±（7.75MHzから12.25MHzまで）